



子供への 新型コロナワクチン接種



慎重に考えましょう!

新型コロナワクチンの接種は任意です。将来のある子供へのワクチン接種について、慎重に考えましょう。子供へのワクチン接種のリスクが議論されず、ワクチン接種をただ押し進める政府方針とテレビ報道は果たして正しいのでしょうか？

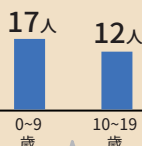
子供の新型コロナの死亡者

(2022年8月30日までの2年7ヶ月間の累計)



短期的な副反応のリスクに加えて、中長期の影響も不明なワクチンを接種する必要があるのでしょうか？

29人



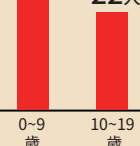
68人

子供のインフルエンザの死亡者

(2018年～2019年の2年間の累計)

90人

22人



例年のインフルエンザに比べ、新型コロナでの子どもの死亡者が多いわけではありません。

若年層にとって本当に新型コロナが恐ろしい感染症なのでしょうか？

うち6人はコロナが直接の原因ではなく、14人は基礎疾患のある人でした。また、この中には自宅療養中に急変したり、救急搬送に2時間かかったケースもありました。死亡に至った要因の一つとして、現在の医療体制の問題もあると思われます。

累計人数は厚生労働省の国内発生動向資料より算出

中長期の影響は不明です

新型コロナワクチンは現在臨床試験中(治験中)の実験的ワクチンで、今後も情報が集積されている状態であり、安全性及び有効性については不明です。



臨床試験 完了予定日

ファイザー 2024年 2月完了

モデルナ 2022年12月完了

ファイザー(5~11歳用) 2024年 5月完了

こどもコロナプラットフォーム

泉大津市長などが発起人の団体「こどもコロナプラットフォーム」が、5-11歳ワクチン接種に対して、慎重に考えてもらえるよう提言しています。



努力義務は強制ではありません

「接種を受けるよう努めなければならない」という、予防接種法第9条の規定が適用されています。この規定のことは、いわゆる『努力義務』と呼ばれていますが、義務とは異なります。接種は強制ではなく、最終的には、あくまでも、ご本人が納得した上で接種をご判断いただくことになります。」



厚生労働省
新型コロナ
ワクチンQ&Aより

「義務」というと、強制力を感じてしまいがちですが、あくまでも、接種は個人の自由で任意です。接種してもしなくても、誰からも責められるものではありません。

大阪府の子どもの接種率7.4%

大阪府の5-11歳のコロナワクチン接種率は7.4%で、ほとんどの子どもが接種していません。(2022年9月時点) 大阪では9割以上の家庭でコロナワクチンに対し問題意識があるということではないでしょうか。